

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
2期連続トップ当選

元インターン生と湯島天神に詣で、就活成就を願う

もうじき 4 年生になる元インターン生の一人(小林加苗さん: 第 38 期生)と湯島天神に詣でました。この時期になってもこの菅原道真を祭った天神様には大勢の参拝者がいました。そして、私たちもその一員でした。

天神様にまずお参りし、次いで「絵馬」を買って、祈願内容やお礼内容を記して、指定場所に下げますが、その分量がすこぶる多いのが特徴です。盛り上がり、あふれるように下げられています。札所で撮影しました。小林加苗さんは、これからの就業、内定を祈願したものになります。ぜひ、成就していただきたいと思っています。



時間があつたので、近くの「旧岩崎邸」を見学しました。三菱グループの創業家岩崎家の邸宅です。旧岩崎邸は客間の洋館部分と、居住部の日本式家屋のスペースで構成されています。その和室では、ゆっくり抹茶をいただきました。明治時代の大企業経営者の邸宅や生活を知っておくのも、社会勉強の一つと考えての見学でした。

創業支援事業の成果の把握

町田市は、町田新産業創造センターを作り、入居希望者を募り、起業家や新しい経営者の支援を行っています。町田駅に隣接している、安い家賃で入居できるという理由で、大変人気のある施設になっています。現在も多数の入居者があると報告されています。入居業種では IT 系のものは言うに及ばず、音楽関係のものまで、どちらかと言うと「ソフト」系が目立つ新興企業や創業者が集まる場所になっています。

2013 年 1 月に、町田市の建物を全面的に使用してスタートしていますが、そろそろそのながしかの成果が問われる時期に入りました。地方自治体の町田市が全面的に資金(90%)を出し、その後の運営費も丸ごと出す施設です。町田市の税収入(法人税)の貢献と言う見返りが反映されなければならないはずです。総務常任委員会で尋ねると、入居企業が退去した後の把握がなされていません。私は、都内で最も実績がある「台東区デザイナーズビレッジ」では、その修了者の行き先を把握し、台東区内で事業化する企業をネットワーク化しているが、その経験を学ぶように提唱しました。



無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで
メール送信が
できます

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

市議会議長として、連日活動中



インターン生が社会体験



携帯QRコード
でブログ閲覧

美術工芸館は建設延期だが

市長が推進する(仮称)国際工芸美術館ですが、当初は2017年度実施設計で、その完成後に直ちに建設工事に入る予定でしたが、その実施時期を市長が自ら延期したものです。

当時の議会で私が質問して確認したのですが、2018年は改選期に入っており、政策的な予算項目であるために、3月に開催される第一定例会では予算の盛り込みはせず、6月に開催される第二定例会に盛り込まれる見込みの答弁がありました。町田市としては、市立国際版画美術館の並びに、国際工芸美術館を建設する意向を進めています。

私は当初から、この構想に疑問を抱いてきました。つまり、「工芸美術」と言うものが町田市にどのようなゆかりを持っているのか、全くないではないかと言う点が第一の疑問点です。次いで、「国際」と銘打っていますが、単に数ヶ国のガラス機器や陶磁器類などを有するのみで、それも世界的に一級品とされるほどのものが幾点有るのか疑問だと考えている次第です。施設を造るとなると、30億円程はかかると見込まれています。普段から、市長や市役所は町田市に金が無いと主張しています。当面はこうした施設づくりは自粛を図るのが政治家の務めではないでしょうか。



三橋國民氏の作品は展示に値する町田市の誇り

三橋國民氏は、美術家として有名な町田市民であり、また、この町田が出身地です。いわゆる「地元」と言うものです。彫刻家、画家として著名であり、その芸術的な功績によって、町田市の名誉市民のみならず、名誉都民にも顕彰された人物です。薬師池公園を始め、様々にその作品が配置されていますが、行政が施設を持って収納しているわけではありません。もし、現行の版画美術館以外の美術品を納めることが必要と言うのであれば、この三橋國民氏の作品を置いて他に無いでしょう。思うに、美術館などは、時間をかけて検討するべきものではないでしょうか。

野津田陸上競技場のJ1化予算に付帯意見

石阪市長が一大方針で取り組む、野津田陸上競技場のサッカーJ1化予算に対して、建設常任委員会で付帯意見が付きまして。「その予算の執行を猶予されたい」と言う文言が入りました。予算の主要な内容は、現行の観客席(10,000人収容)に5,000名分を増設し、追加して屋根をつけるというものであり、50~60億円を擁する大型工事になります。先日の河辺議員の本会議質疑で明らかになったのですが、町田市第二次野津田公園整備基本計画(同額程度が必要)には含まれないスポーツ関係の新規事業費支出であり、多方面に反響が起きるでしょう。*以下、次号で詳述。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)